



Vol.1

2014

こども達が紹介する修善寺ガイドブック

小学生とプロフェッショナルがつくる
コラボレーション情報マガジン

く る ら

K U R U R A

笑顔あふれる伊豆市に!!

小学生が伊豆市長にインタビュー

修善寺ぐるめまっぷ

観光の町、修善寺特集

コラム

修善寺南小学校/櫻井教諭・遠藤教諭

伊豆市観光協会修善寺支部/植田 健二

NPO修善寺総合研究所 副理事長/伊藤徹郎

伊豆の国農協/松下 千春

小長谷朗夫

一石庵/原 京

株式会社カラーコード/浅井 由剛

NPOサプライズ/森嶋 康代





伊豆市立
修善寺南
小学校
5年生

巻頭特集

04 笑顔あふれる伊豆市に!!
小学生が伊豆市長にインタビュー

06 修善寺のみどころ
修禅寺・独鈷の湯・竹林の小径

08 修善寺の隠れた名所
天神社・城山神社・修善寺城・柏久保城

10 修善寺温泉の旅館
新井旅館・菊屋・宙・桂川・修善寺ホテル・五葉館・対山荘・〇久

14 先生のコラム / 櫻井勝也教諭・遠藤 惟教諭

15 伊豆市立修善寺南小学校代表 / 石黒すみれ・杉山ひなの・木村安寿・藤巻結衣

16 伊豆市の名産「しいたけ」の紹介
きのご総合センター・しいたけレシピ

18 修善寺のテーマパーク
虹の郷・サイクルスポーツセンター

20 コラム / 伊豆市観光協会修善寺支部 植田健二・伊豆の国農協 松下千春
NPO修善寺総合研究所 副理事長 伊藤徹郎・小長谷朗夫

21 修善寺の人気のお店
湯川屋・三田鮎店・なゝ番・みづ・弘乃・一石庵

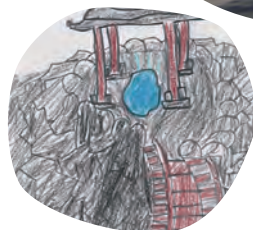
24 コラム / 一石庵 原 京

25 修善寺駅前

26 修善寺ぐるめマップ

30 コラム / 株式会社カラーコード 浅井 由剛
NPO サプライズ 森嶋 康代

31 編集後記
伊豆市商工会 修善寺支所 高橋正樹



「KURURA・くるら」は
「来るよね?」「来るでしょ!」
を表す伊豆地方の言葉です!

タイトル / 題字 : 海聖・崇翔・翼・陽大

笑顔あふれる伊豆市に！

みんなの笑顔が集まる伊豆市



伊豆市がよい町であることに皆さんに伝える方法を伊豆市長さんにまかせてきました。

小学生が伊豆市長にインタビュー

よりいっそうすてきな伊豆市にするには!!

1月14日、わたしたちは、伊豆市長菊地豊さんに、伊豆市についてのいろいろな話を聞くために、伊豆市役所に行ってきました。

案内されたのは、市長室のすぐそばにある特別会議室。元気な人で、声が大きく、どんな人なのか、どんな話をしてくれるのか、緊張する中で少し楽しみに思いながら市長さんを待ちました。

わたしたちの前に現れた市長さんは、聞いていた通りの明るく元気な人で、わたしたちに大きな声であいさつをすると、わたしたち一人ずつを指さし、「おっ。これは、A K B、A K B、A K B、A K B、A K B、A K B、A K B、ジャニーズかな。」とわたしたちの笑いを誘い、和ませてくれました。緊張をほぐしてくれていることが伝わってきました。

そんなやさしく元気いっっぱいの市長さんにたくさん質問をぶつけると、一つ一つの質問にとってもいねいに答えてくれました。

「伊豆市はどんな町ですか？」

「世界一や日本一がたくさんあるすばらしい町ですね。土肥金山は世界一。中伊豆のわざびは日本一。」

きれいで住みやすい町を作っていく努力をしていこうと思いました。

最後に、市長さんから伊豆市の子どもたちへ、メッセージをいただきました。

「伊豆市は、みなさんが生まれた年とほぼ同じところに生まれ、現在10歳です。成人まで、あと10年。みんなが住みたくなるような伊豆市にするためには、これからの10年がとてとても大切になります。そのためにも、大人から子どもまで、みなさんの声をよく聴き、全力でがんばります。」

市長さんの言うように、みんなの修善寺を、そして伊豆市を大切にしていきたいと思います。

(文/すみれ・珠実・陽大・ひなの・真白・萌香菜・結衣・朱里)



だるま山から見た富士山の景色も世界的に有名なんですよ。」

「伊豆市のよいところはどんなところですか？」

「気候は温暖で住みやすく、きれいな狩野川やそれを支える天城山など豊かな自然に恵まれ、温泉もあちこちにたくさんあるところですね。」

「伊豆市の中でも、修善寺のよいところはどこですか？」

「修善寺というのは、身近な場所でありながら、昔から、ここに来ては何でもできる、という場所でした。昔は映画館もあったし、サーカスもやって来たりして、とにかくにぎわっていました。狩野川沿いの土手の桜は見事だし、川の水も

きれいだし、いいところがたくさんある町ですね。」

「伊豆市をどんな町にしたいですか？」

「子どもたちが、大人になってもずっと伊豆市に住んでいたい、また、大人になって伊豆市に帰ってきたい、そんな風に思ってもらえるような町にしたいと思っています。」

「すばらしい伊豆市の自然を守るために、どんなことをしたらよいですか？」

「このすばらしい狩野川と天城の森は、絶対に残していかななくてはなりません。そのために、川にごみを捨てたりせず、洗剤の量などでもできる

すてきな伊豆市をつくっていくぞう!!

市長さんのお話を聞いて、わたしも伊豆市に住みたいと思います。そして、もっとすばらしい伊豆市、すばらしい修善寺にしたいなと思いました。みんなが修善寺を大切にしたい、もっと元気な修善寺になればいいなと思いました。一つ一つの小さな努力で修善寺、そして伊豆市がもっとすばらしい町に変わっていくかもしれない。まずは、ごみを少なくすることを心がけ、ごみ拾い活動や流す水をきれいにする工夫にはげみ、



なごみの時間

心を清められる素敵なお寺...。
福地山修禪寺(ぶくしさんしゆぜんじ)



修禪寺では、毎朝5時に鐘をならす音が聞こえます。今回は、そんなお寺で修行している住職さんとお寺を観光しているお客さんに話を聞いてみました。

まごをつくす、ご住職

修禪寺には、代々受け継がれてきた伝統を守ろうとしている人がいます。ぼくたちが行った修禪寺の住職さんです。

「まごをつくす」これは、住職さんのお寺にかけられる思いです。「まごをつくす」とは、丁寧に接したり、親切にしたりすることだそうです。

はじめての座禅体験

修禪寺では、火曜日夜7時に座禅体験をすることが出来ます。わたしたちも座禅に挑戦させて

ぼくたちのことも、親切に迎えてくれました。初めて訪れた人でも、気軽に話したり話したりできるお寺です。ぜひ修禪寺に行ってみてください。

もらいました。

座禅をして、足はしびれてしまいました。終わった後の心の中は、すっきりとした気持ちになりました。修禪寺をお参りするだけではなく、座禅をして心を清めるのもいいですよ。

修禪寺を訪れているお客さんに体験の感想をお聞きしました。

「すがすがしい。悩んでいるときは、座禅をすると気持ちがいい。疲れがとれる。」と言ってくれました。



座禅を体験してみました！短い時間の体験でしたが、終わった後は、とても気分がよいものでした。



「わたしは、朝と夜だけは絶対に座禅をやりたい。もし、座禅がやれないのであれば、住職をやめるかもしれない。」と住職は話してくれました。

東海で一番美しいお庭

修禪寺にはもう一つすごいところがあります。「東海第一園」というお庭です。名前のとおり、東海で一番美しいお庭と言われています。このお庭は、秋に期間限定で公開されている。自然の魅力を感じることのできるお庭です。

最後に住職さんからのメッセージです。「そのときそのときを一生懸命生きればよいのです。」

(文・写真 / あい・春道)

福地山 修禪寺

静岡県伊豆市修善寺964
☎ 0558720053
受付時間 8時～16時



自然を間近で見られる足湯

修善寺といえば、わさび、しいたけなどです。しかし、忘れてはいけません。修善寺には温泉があるので。修善寺には、旅館に泊まると入ることができる温泉のほかに、気軽に自然や温泉街の景色を楽しみながら入ることのできる温泉があります。

一つ目は、「河原湯」という足湯です。ぼくたちは、そこで、東京から来た人に会いました。その人は、「修善寺は空気がおいしい。静かで自然がいっぱい。」など、修善寺の良いところをたくさん教えてくれました。

ぼくたちも足湯を体験してみました。足が真っ赤になるほどの温度でした。足だけしか入っていないので

に、全身が、そして心が温まります。疲れている人には、特に効果抜群です。みなさんも入りに来てください。河原湯の近くには、昔からの歴史がある露天風呂があります。名は、「独鈷の湯」。

今は入ることができませんが、昔から地元の人たちに親しまれてきました。独鈷の湯の「独鈷」は、昔、弘法大師がスコップのように使っていたものです。「独鈷の湯」は、弘法大師が独鈷を使って地面を掘ったところ。温泉が湧き出たと言われています。みなさんもぜひ見に来てください。

(文・写真 / 我瑠・史悠)

独鈷の湯・河原湯

静岡県伊豆市修善寺温泉
伊豆市観光協会修善寺支部
☎ 0558722501

温泉の町 修善寺



独鈷の湯からの景色は最高ですが、今は入ることができません。ですが、上に「河原湯」というところがあります。河原湯では足湯を楽しむことができます。「温泉の町」といわれる修善寺に、あなたも来ませんか？



あなたは「自然の音」を聞いたことがありますか？

自然の音が感じられる径

竹林の小径を歩いてみると、自然の音を感じたり、風景を感じたり、自分なりの時間を過ごすことができます。

まず、竹林の小径に入ると上を見るとき、竹の間から太陽の光が差し込んで、竹が光って見えました。そして、風が吹くたび、さわさわという音が聞こえてきました。これが自然の音です。

少し進むと竹でできた丸い台があります。何だろう？と思うことがあるかも知れません。そこに、寝転がってみてください。とてもいい景色が見えます。赤や黄色、オレンジ、黄緑色のもみじが散ります。風が吹いてもみじが散ると、カラフルな雨がひらひらと散っているように見えます。耳をすまると、いろいろな音が



聞こえてきます。風の吹く音も、木々がゆれる音も聞こえます。

すべての音は、人が作り出した音ではなく、自然が作り出した音なのです。その音は、普段聞けない音だったので、他のお客さんたちも、ゆっくり歩いたりして、その時間を楽しんでいました。

竹林の小径に来ていたお客さんに感想をうかがってみました。「竹とても爽やかできれいです。」「竹ともみじが重なってきれいだね。」と言っていました。

夏には虫の声、夜にはライトアップなど、時間帯や季節によって違った景色や音を体験できます。ぜひ、見に来てください。

(文・写真 / 葵・結衣)

静岡県伊豆市修善寺温泉
伊豆市観光協会修善寺支部
☎ 0558722501

これを読めば、修善寺で大切にされている祭りとその見どころが分かります！

地元の祭りに受け継がれるもの

「三番叟」さんばそう

修善寺には、いくつかの神社がありますが、その中で3つの神社で三番叟というものを神様にささげる祭りを行っています。ここでは、天神社のお祭りとそこで行われている三番叟について詳しく紹介いたします。



この三番叟は二百年くらい受け継がれています。昔は3時間も踊っていたそうですが、今は2時間ほどです。地区によって踊りや声の出し方は違うそうです。二百年間、しっかりとその「舞」が受け継がれています。

だれが行っても楽しめる天神社祭り

三番叟とは、昔から伝えられてきた神様にささげる踊りです。五穀豊穣に感謝し、また次の年もそうであってほしいと願い、行われてきました。三番叟は、大久保長安という人が流行らせました。もともと三番叟は、菅原道真を祭るお祭りのようです。三番叟では、翁と黒尉、千代が踊ります。天神社で行う三番叟では、地域の子供会から参加者が出ています。小学3年生から中学生までが基本とされています。

責任者の山下さんは、「三番叟をできるだけたくさんの人にしてみたい。今後、どのようにして伝え残していくのが課題です。」と話していました。

天神社の祭りは、毎年11月3日に行われています。ぜひ、見に行ってください。

天神社のお祭りでは、三番叟だけではなく、餅まきや地域の子供会によるしゃぎり、伊豆総合高校の天城連峰太鼓の演奏などが行われます。

人気の屋台ベスト3

- 1位 焼きそば
香ばしくて美味しいです。
一口食べたらほっぺが落ちちゃう！
- 2位 輪投げ
子供に大人気！絵本やカード、ぬいぐるみなどもあります。
- 3位 鮎の塩焼き
狩野川の鮎を塩焼きにします。
カリカリの皮が最高です！



わたしは、昭和50年ころ三番叟の笛を吹いていました。三番叟をめあてに来てくれるお客さんが増えるといいなと思っています。最近は三番叟を見ずに帰ってしまう人が多いようなので、ぜひ見てほしいですね。地域の人や商工会の人たちが屋台も出してくれるので楽しいお祭りですよ。

屋台は、5・6種類あります。屋台は地元の人がかかるので、年によって種類が変わります。毎年あるのが、焼きそば屋さん、おもちゃ屋さん、輪投げ、おみくじです。焼きそばは作りたてなので温かくとても美味しいですよ。

(文・写真/ 苺弥・珠実・美羽・萌恵)

ぼくらの町修善寺には、古い歴史がいまでも残っています。その歴史は、江戸時代よりも古い歴史をほこっています。

みなさんは「独鈷の湯」をごぞんじですか？

この独鈷の湯は、大同2年。分かりやすく言うと、807年「弘法大師」という人が、作った温泉です。

この独鈷の湯、今は入る事ができませんが、近くの足湯「河原湯」にはつかることが出来ます。この足湯は、温かくリラックス効果があり、すく気持が良いのです。つかれがたまった時やストレスがたまった時にいくと効果が期待できます。時間があるときには、ぜひ足をつけてみてください。

足をお湯につからせながら、昔ながらの風景や橋などを楽しむことができますよ。

歴史ある山発見！「修善寺城」柏久保城

山にも歴史がたくさんあります。ここ修善寺の山にもたくさん歴史があります。その山々には、お城の歴史があったのです。

その山とは、「城山」と「愛宕(あたらご)山」です。この2つの山には、それぞれ「修善寺城」と「柏久保城」がありました。どちらの城にも、畠山氏、狩野氏、足利氏、北条氏という有名な武将たちが関係していたという話が残っています。しかし、残念な

発見、歴史のおもてなし

城跡にはさまざまな歴史がもりだくさん。特に頂上の景色には？

城山(修善寺城跡)に登る前には、バインと平らな土地が広がっています。金閣寺のような城があるイメージ

でした。しかし、実際に登ってみると、思っていたよりせまく「本当にここに城があったの？」と思うくらいでした。それでもよくまわりを見ると、井戸があったり土塁があったりしました。

そして、てっぺんで北の方をみると、富士山の頭が見えました。天気がいけい日は見えるそうです。運がよければ見えるんですね。あなたの運はどれくらいでしょう。

てっぺんから少し降りたところには、青い建物がありました。昔ロープウェイがあった場所だと書いてありました。大昔から近い昔まで、この辺には歴史がたくさんあるんだなと思いました。

どちらの山も登りがいがありました。頂上からの景色を見て、やっぱり見晴らしのよいところにお城は建つんだなと思いました。

(文・写真/ 翔大・司・天馬・直樹・由希也・琉成)

歴史のたまり場！

～修善寺～



ぼくらの町にはこんな歴史があるんです。

- 「独鈷の湯」
- 「修善寺城」
- 「柏久保城」



これは、城山の頂上からきれいな見える富士山の写真です。がんばって登った人だけが見ることのできるごほうびです。苦労した後の富士山は最高でした。

歴史がイメージとなる旅館

新井旅館

独鈷の湯からはほど近い場所にある「新井旅館」。

明治五年からそこに立つ老舗旅館です。建てた当時から全く姿形を変えていないところがすごいところです。今まで何人もの有名人が泊まっていたそうです。

この建物は、歴史館と旅館が入り交じったような建物です。昔ながらのものが今でもたくさんありました。

建物の中を歩いてみると、床が少しすけていて、その下には池が見えます。その池は中庭とつながり、中庭は池のある庭園になっています。池の中に生



新井旅館
(あらいりよかん)
〒410-2416
伊豆市修善寺 970
0558-72-2007

えている木は、石の上に生えているような独特の姿を見せていました。その庭では、秋になると真っ赤な美しい紅葉の風景を見せてくれます。そんな風景を見ながら温かい飲み物を飲むと、心が落ち着いてとてもいい気分になります。

大浴場も昔ながらの「お風呂」になっていて、おけて冷水とお湯をくみ分けれます。湯船につりながら大きい窓の下の方に池の中が見えるようになってお風呂もあります。台湾から運んだ立派なビノキで作られた浴場でお風呂につかりながら池を泳ぐ鯉が見られるなんて、鯉たちといっしょに温泉に入っているような気分になるでしょうね。

休憩所には昔の有名な人の詠んだ短歌がたくさん飾られていました。昔の道具もいろんなところに大切に保管されていました。

部屋は、和の空間になっています。窓の外には川が流れ、足湯も見えて、とても美しい景色です。

国の重要文化財にも指定されている歴史たっぷりの新井旅館に、ぜひ行ってみてください。

(文・写真 / 海聖・崇翔・翼・陽大)

光を使ったすばらしい旅館

宙 SORA

修善寺温泉場の中でもいちばん高いところに立つ「旅館 宙 SORA」。

宙の見どころといえば、4つの露天風呂でしょう。「光る露天風呂」は、ガラスの温泉全体が光に包まれ、まるでキラキラと光り輝く星の温泉といった感じ

です。「岩の露天風呂」「石の露天風呂」からは修善寺の全景を見下ろすことができます。弘法祭のときには、お風呂に入りながら花火を楽しむことができます。夕焼けの露天風呂では、沈む夕日をながめながらゆつくりとその時間を味わうことができます。



宙 SORA
(そら)
〒410-2416
伊豆市修善寺 3455
0558-72-0601

部屋から見える景色も最高です。夕食の後、部屋にもとると、目の前にはライトアップされた池や木々が目の前に広がります。秋になれば、赤や黄色に染まった紅葉がライトアップされ、いっそうの美しさを演出します。さつとあなたも感動することでしょう。

食事をする部屋にも工夫がされています。春夏秋冬の四季をイメージした部屋が用意されていて、落ち着いた雰囲気です。料理も、味だけでなく見た目もこだわったものが出され、お年寄りのために工夫された料理も出されるそうです。

いろいろなところで光を上手に使っている旅館「宙 SORA」にぜひ、行ってみてください。

(文・写真 / 海聖・崇翔・翼・陽大)



明治前半からある旅館

湯回廊 菊屋

修善寺の温泉場をたずねるとき、温泉駅でバス停留場を降りるとま

ず目に入る旅館。それが「湯回廊 菊屋」です。

その宿はとても広く、迷うためにつくられたかのような回廊は、とても魅力的です。

菊屋ができて、今年で三百六十年になります。三世紀以上も、生き続けているこの旅館に行ってみてはどうでしょうか。

大人も子供も、きつといい勉強になりますよ。

スリッパをすぐはけるようにそろえる。これは、菊屋さんの心が



湯回廊 菊屋
(ゆかいるうきくや)
〒410-2416
伊豆市修善寺 874 -1
0558-72-2000

けていることです。

私たちが取材に行ってお部屋を見てもらったとき、スリッパをぬぎずてしまっても、お部屋を出るときにはきれいにそろえてありました。このようにすることを思いました。「いい心がけだな」と思いました。建物の中は、お風呂をはじめ、昔のものが多く、「歴史が深いな」と感じられました。菊屋さんに行ってみれば、みなさんがまだ見たことのない昔のものを味わってみたいと思います。

私たちが取材に行ったときにも、こんなものが昔のころはあったんだとおどろきの連続でした。みなさんも菊屋ならではの歴史の深さやおもてなしを味わってみてください。

そんな歴史深い菊屋を案内してくださった支配人の平澤さんにお話を聞きました。

お客様がいらしたときには、笑顔でむかえています。お帰りになるときは、笑顔になって帰っていただきました。

いつもそういう心で接しているから、お客様がみんな気持ちよくなるんですね。

(文・写真 / 桜音すみれ 菜々子 みの 萌音)

やさしい心盛りだくさん

桂川

聖なるハリストス正教会から徒歩約1分。修善寺で一番大きな旅館ホテル「桂川」。

今回はそんな桂川で支配人さんにお話を聞きました。

「桂川は、旅でつかれた体をほぐしてくれる旅館なんですよ。」

ハリストス正教会からほど近い桂川は、宿泊客が来ると、従業員さんが出むかえてくれて、重い荷物はチェックイン時にお部屋まで持って行ってくれます。観光客の方たちには進んで写真をとりますよ。か。などと言ってくれたり、帰るときには最後まで見送ってくれたり、



桂川
(かづらがわ)
〒410-2416
伊豆市修善寺 860
0558-72-0810

気づいたことはすぐにやってくれます。そういう小さなことをさりげなくやってくれようというですね。

わたしたちが取材に行ったときにも、支配人さんが「重い荷物はロビーに置いていいですよ。」と言ってくれました。そのときに、支配人さんが最初に言ったことを実感することができました。

その他にも、車いすで来た人がいやな気分にならないように、いろいろなところを改良してありました。スロープはあらゆるところにあるので楽に移動することができ、車いすの人も安心して泊まれる旅館です。

お風呂は男女交代制があるので1日にたくさんのお風呂が楽しめます。体が悪い方でも、バリアフリーを使っているので、階段の横に坂があり、楽々上り下りが出来ます。お客様に対しての心づかいがたくさんあふれる、桂川です。

さらに、子供が楽しめるゲームセンター、大人の楽しみ所大宴会場など、子供も大人も楽しめる場所盛りだくさんです。

一度泊まってみて、桂川の良さを満喫してみてください。

(文・写真 / 桜音すみれ 菜々子 みの 萌音)



竹などの自然物で
優雅さを演出するホテル

修善寺ホテル

白い壁でできた修善寺ホテルに入ると、左側にはバーがあり、建物全体が新しい感じで、何か洋風な感じがしました。女将さんに連れられて廊下を歩いて行くと、そこには、切った竹が飾りとして運っていました。部屋にも竹で作られたいすやテーブルがあり、竹が上手に使われていることがよくわかりました。

お風呂を見せてもらいました。大浴場の岩風呂と岩窟風呂があります。大浴場も広くて気持ちよさそうでしたが、なんといっても、このホテ



修善寺ホテル
(しゅぜんじほてる)
〒410-2416
静岡県伊豆市修善寺 3431
0558-72-2033

ルのおすすぬめは「岩窟風呂」。岩をくりぬいて作られた風呂ですが、このお風呂は、この初代社長が一年半をかけて掘ったそうです。昔は倉庫に使われていた場所ですが、今は修善寺の中でも有名なお風呂になりました。暗い感じのところがあるのでゆつくり落ち着いて入ることができます。

料理は、昔と今を融合させた感じの新しい料理がともおいしそうです。食べてみればそのおいしさがわかるはずなので、ぜひ食べてみてください。



(文・写真 / 海聖・崇翔・翼・陽大)

旅館ではない旅館

五葉館

路線バスの停留場、修善寺温泉駅の近くの「五葉館」。旅館に入ると、和風という感じがします。フロントの野田さんが笑顔でむかえてくれます。

五葉館のお部屋は一部屋一部屋のつくりがちがいます。どの部屋もとてもすてきです。

その中でもおすすめのお部屋は、「藍の間」というお部屋です。藍の間は、とてもえんぎのいい部屋で、入ってみるとおどろくくらいりっぱです。



五葉館
(ごようかん)
〒410-2416
静岡県伊豆市修善寺 765-2
0558-72-2066

「昇り鯉」「昇り龍」が壁に描かれています。フロントの野田さんは、「プロの人が手書きで描きました。」と言っていました。こんな部屋に泊まってみたいですね！

(文・写真 / 汐里・由奈・莉子・りん)



従業員さんの気遣いが
よく分かる旅館

対山荘

女性が泊まりやすい旅館で、一人で来たお客さんもゆつくり楽しんでもらえる旅館がありました。

それが「対山荘」です。私たちが取材に行ったとき、笑顔でむかえてくれたのは、従業員の石井さんでした。

普段は「お客さんに楽しんでもらえるように」と心がけて接しているそうです。

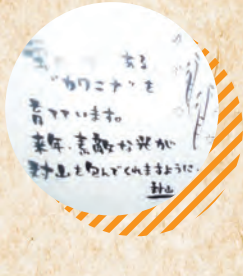
対山荘では、いろいろなサービスがあり、中でもないなと思ったものは「スリッパ用クリップ」です。これは、他の



対山荘
(たいざんそう)
〒410-2416
静岡県伊豆市修善寺 883
0558-72-0331

お客さんのスリッパと履き間違えないようにするためのクリップです。一つ一つ柄が違い、和風の良さが感じられます。

そんなところまで気をつかってくれると、取材に行った私たちまで笑顔になりました。そんな対山荘さんです。
(文・写真 / 桜音・すみれ・菜子・ひなの・萌壹菜)



〇久さんと温泉の水

〇久

〇久旅館に入る前、大きな旅館だったので、圧倒されるような感じがしました。しかし入ってみると、女将さんが笑顔でむかえてくれて、ほっとしました。

〇久旅館には、お客さんに合わせたサービスがあります。旅館の中のいろいろな所を見せただきましたが、どこにも段差がなく、すべてバリアフリーになっていました。お料理にも注目です。

お料理のランチオンマットには、女将さんの手書きのメッセージがあります。泊まったとき、探してみてください。いろいろな面で心温まる旅館です。



〇久
(まるきゅう)
〒410-2416
静岡県伊豆市修善寺 1146
0558-72-0260

〇久旅館では、他ではあまり味わえないものがあります。その中でも、これはいいなと思つたところを紹介しましょう。

まず、温泉です。この温泉は、働いている方に許可をとれば、飲むことができます。飲んでみると、ほんのり甘く、普通の水よりなめらかです。ぜひ、〇久旅館に来たら飲んでみてください。

〇久旅館で働く従業員さんたちに、心がけていることを伺つたところ、相手の目を見て、同じ目線で話すようにしていると話してくれました。わたしたちと話しているときでも、一人ひとりの目を見て話してくださいました。「ああ、真剣に話してくれているんだな。」とうれしく思いました。いつも笑顔で接してくれているとうれしいですね。



(文・写真 / 桜音・すみれ・菜子・ひなの・萌壹菜)

修善寺南小学校5年生を代表して

これからの修善寺に期待すること 石黒すみれ



「伊豆市のすばらしい自然を守るためにはどんなことをしていけばいいと思いますか。」
 「毒のない農薬を使うこと、洗濯に使う洗剤を減らすこと、そして何よりも、ごみを減らすことです。」
 これは、市長さんにインタビューしたときに答えてもらったことです。自然を守るためには、ごみを減らしていくことが大切になるそうです。これから、わたしたち一人一人がごみを捨てないように気をつけていけば、少しでも自然が守れるとわたしも思います。
 伊豆市は今年で10年です。成人まであと10年あります。だから、これから伊豆市が成人する10年後まで、ごみを減らしていくことができればいいと思います。そうすることで伊豆市の自然を守っていききたいと思います。そして、市長さんがめざす「高校や大学を出た後にもどってきたと思える町」にすることに協力したいと思います。
 修善寺が、自然の豊かさが有名になり、観光客も増えて、いっそうにぎわっていくことを期待しています。

修善寺のよいところ 杉山ひなの



修善寺のよいところを紹介します。
 修善寺は自然が豊かで、温泉もたくさんあります。温泉街には、竹林の小径があり古い建物が建ち並んでいるので、「伊豆の小京都」と呼ばれているそうです。
 他にも虹の郷や梅林など、自然を大切にしたい観光スポットがたくさんあります。
 修善寺駅もきれいになりました。
 しかし、よいところは、観光だけではありません。すれちがう人が、知らない人でも気軽にあいさつをしてくれます。気持ちのいい人が多いところもいいところです。
 気候も過ごしやすく、住むには最高の環境です。
 あらためて考えると、わたしはよいところで生活しているんだと思います。たくさんの方が修善寺の良さに気づき、住んでくれればいいなと思います。

修善寺のよいところ 木村安寿



修善寺には、たくさんよいところがあります。
 それは、美しい自然や古い歴史がたくさんあるところです。
 修善寺には、一年中楽しめる自然がたくさんあります。春や夏は緑、秋や冬は赤や黄、白が美しいと思います。温泉に入りながら景色をながめるのも一つの楽しみ方です。
 そして、修善寺には、源頼家が月を見たと言われる「月見が丘」や、加藤景康の墓「五輪塔」など、有名な歴史を持つ場所がたくさんあります。歴史のある場所に行くと、どんなところなのか調べるのもおもしろいと思います。
 これから、もっと修善寺のよいところを見つけていきたいです。また、他の地域の人に自慢できる場所がもっと増えればいいなと思います。

修善寺のよいところ 藤巻結衣



わたしが思う修善寺のよいところは、地域の人のやさしさと思いやりです。11月の校外体験学習でそのことを強く感じました。修善寺の住職さんは、わたしたちに座禅の仕方を優しく教えてくれました。竹林の小径では、わたしたちのインタビューに、たくさんの方が気持ちよく答えてくれました。日常生活の中でも、電車の中で席を譲ったり、登校するときにすれちがう人が「行ってらっしゃい。」と元気に声をかけてくれたりします。
 伊豆市長さんにインタビューに行ったときにも、「伊豆市の人は、みんな優しい。」と話していました。
 わたしは、そんな伊豆市の人たちがやさしさを失わないように、子どものわたしたちがやさしさを持って、元気に生活していこうと思います。伊豆市のみんなが優しく、元気に暮らしていける町になればいいと思います。

子どもの頃の教育と地域

伊豆市立修善寺南小学校5年生担任
櫻井 勝也 教諭



わたしたちが子どもの頃、「頑固親父」と呼ばれる近所のおじさんは、もう、姿を消していたように思います。
 私の場合は、その代わりが祖母でした。明治生まれの祖母は、食事の作法にうるさく不躰な作法には、自分の箸で孫のわたしたちの手をたたくという方法で躰けていました。食事でない場面では、掃除道具である「はたき」がわたしたちのいけない行為に対してしつけをするための「はたき」道具であったのです。祖母が厳しかった分、祖父や父母は、ときどき長男の兄をきつくしかる以外は優しくなっていました。
 祖母から作法の大切さについて厳しく教わった分が、今の担任する子どもたちへの「うるささ」につながっているのだと思います。「うるさすぎる、細かすぎる」と非難される面もありますが、感謝してもらえる部分もあって、自分なりのスタンスとして続けています。
 地域社会に目を向けると、現在の地域社会では、昔より子供会活動が弱体化しているように思えます。
 秋の学区別ソフトボール大会に向けて、ラジオ体操後に必ず練習をし、放課後にも週に3回ほど練習していた私の子ども

の頃は、縦横のつながりの強さは大きく違ってきていることでしょう。それでも地域社会には子どもがいて、子どもの活動を支える大人がいます。地域の大人が子どもたちの活動を引っ張って行かなくては、子どもたちだけで何かを始めようなんてことができるわけがありません。それは昔も今も変わらないことであると思います。
 大人が企画した何かに子どもたちが乗っかり、それを続けていくうちにその子どもたちが大人になって引き継いでいく。そんなスパイラルが大昔から受け継がれ、今も残る三番叟などの行事になってすばらしき伝統となっています。
 大人は、古きよき伝統をしっかり受け継ぎ、新しいものときには作り出しながら地域社会の活動を発展させていくべきでしょう。子どもは、それに素直に乗っかり、十分に楽しんで後輩たちにその楽しさを伝えていく。そんな地域社会があれば、問題となっている少子化に少しでも歯止めがかかるのではないのでしょうか。伊豆地区、修善寺地区、南小学校区の発展を祈ります。

『総合的な学習』と子どもたち、地域の関わり

伊豆市立修善寺南小学校5年生担任
遠藤 惟 教諭



わたしは、修善寺南小学校の隣の学区にあたる修善寺小学校の出身です。毎朝、修善寺、独鈷の湯の前を歩いて登校し、学校帰りには温泉場で遊びながら帰るのが日課でした。
 総合的な学習が始まったのは、ちょうどわたしが6年生のときでした。当時は『総合』と呼んで、授業のある日を心待ちにしていたことを覚えています。総合では、インターネットを使って修学旅行の班別行動のプランを立てたり、理想のプランを紹介するプレゼンテーション(発表用スライド)を作って、参観日に発表したりしました。まだ、パソコン、インターネットの普及が現在ほど進んでいなかった当時、未来の授業を受けているような気持ちだったので、今でも、当時の様子をほつきりと覚えています。
 南小学校の「かしわ学習」と同様に、地域のことを知ろう、知らせようという活動もしていたと思います。伊豆市に合併される前の修善寺町では、町が主催する「ホリデーイン修善寺」という秋祭りがありました。そこで、クラスでお店を出し、地域の方に対して何かを紹介したと思うのですが……。

パソコンを使う授業に比べ、わたしの中でのインパクトが小さかったのが覚えていないという有様です。これでは、当時の担任の先生に怒られてしまいますね。
 でも、今年度の南小の5年生は違わずです。今回、子どもたちは、商工会さんの協力を得て、「フリーペーパーづくり」に挑戦させてもらいました。プロのデザイナーさんにデザインの基本を教えてもらうことからスタートした今回の活動。自分たちの足で取材に行き、体験する。感じたことを記事にして発信する。このフリーペーパーを完成させるまでには、たくさんの人と関わりがありました。子ども同士、何度も記事を練り直し、言い合いになることもありました。子どもたちにとって、この経験はきっと忘れられない思い出になったと思います。
 完成したフリーペーパーが手元に届いたときの子どもたちの表情が楽しみです。

これを見れば、あなたもおいしいしいたけ料理が作れます。 おいしいしいたけ料理

たくさん手間と栄養がたっぷり入ったしいたけを調理してみました。
今回の調理法は、「しいたけのじくのきんぴら」でした。
教えてくれたのは、伊豆市全体の給食を管理している鈴木栄養士さんです。
「しいたけのじくのきんぴら」では、しいたけのじくまで使います。
じくまでよく火が通って、しょう油の味がほどよくしみて、最高でした。
いつも捨てているじくを料理に使うなんて、すごい工夫だなと思いました。

じくはとてもおいしかった。
かさの料理も苦手だったけど、
とてもおいしくてたくさん食べられた。
家でもっとたくさん
食べてみたい(航平)



しいたけのじくのきんぴら

材料

- 生しいたけのじく(太めのもの)：10本くらい
- さとう：小さじ1・2杯
- しょう油：小さじ1・2杯
- 清酒・みりん：各小さじ1杯
- ごま油：小さじ1杯
- 白ごま：少々

作り方

- 1：生しいたけの軸は、手で細かくさく。(たいへん)
- 2：ごま油でさいたまじくを炒め、しんなりしてきたら調味料を加え炒め煮にする
- 3：水分がなくなったら火を止め、白ごまを加える。



包丁も使えます



きんぴらごぼうより
おいしかった。
家でもしいたけのじくを使って
きんぴらを作っています。(幸)



いちばんおいしい
食べ方がわかった。
家でも作ってもらいたい。
(幸生)



修善寺には、しいたけの長い歴史があります。
しいたけの育ちやすい山もあります。しいたけの祭りもあります。
みんなで大切に育てている修善寺のしいたけを、みんなで食べましょう。
(文・写真 / 啓二郎・幸生・航平・広樹・蓮)

きのこ総合センター

修善寺三大珍味と言えど・・・ 干しいたけ

みなさん、修善寺のしいたけを知っていますか。
修善寺は、しいたけを作る環境にめぐまれています。まず、
温度や湿度がしいたけ作りに適しているのです。
また、しいたけのことについて勉強できる「きのこ総合センター」があるのも強味です。
ぼくたちは、その「きのこ総合センター」に行って、話を聞いてきました。
しいたけ作りに大切なこと。
それは、しいたけが気持ちよく育つように温度を調節すること、
天敵の虫に食べられないようにすること。
それと、しっかりと成長するまで気長に待つことだそうです。
たくさん手間と知恵がかけられた修善寺のしいたけ。
ぜひ、みんなでおいしく食べてもらいたいものですね。



きのこの天敵

きのこ総合センターでは、きのこの歴史や天敵を知ることができます。
ところで、みなさんはしいたけの天敵を知っていますか？
それは、虫なのです。ガなどの虫が、しいたけを好んで食べてしまうのです。
しいたけを食べる主な虫は、シイタケオオヒロゾコガやニホンホソオオキノコムシなどです。
そんな天敵をさげながら大きく育ったしいたけは、もちろんおいしいんです。
(文・写真 / 啓二郎・幸生・航平・広樹・蓮)



しいたけのおいしい食べ方

どんな食べ方をすればしいたけをおいしく食べることができるのか、
教えてもらいました。しいたけには、ビタミンDや食物せんい、
レンチナンやエリタデニンといった、体にいい栄養素がたくさん含まれています。
それらを逃がさないように、みそ汁やカレー、そうめんなどの汁物や、
炊き込みご飯、グラタンにすき焼き、そして、バーベキューなどの
食べ方がよいそうで、どんな料理にも合うそうです。





サイクルスポーツセンターのおもしろ自転車には、カタカタ、くらくら、キコキコ、跳んだりはねたり、かわいいものがたくさんあります。



ぼくたち小学生のおススメは、「F1サイクル」「ザリガニサイクル」「カルガモサイクル」「ラウンドサイクル」「3x3サイクル」などです。「F1サイクル」は、レーサーの気持ちを楽しめます。「ザリガニサイクル」は、ザリガニのような面白い動きをします。「カルガモサイクル」は、たくさん連結して走る楽しさが味わえます。「ラウンドサイクル」は、くるくる回る楽しい自転車です。「3x3サイクル」は、ヤツタマンの悪い人が乗っけるような自転車です。



サイクルスポーツセンター
静岡県伊豆市大野 1826
Tel. 0558-79-0001
営業 季節によって異なります

どの自転車に乗っても楽しさいっぱい。
サイクルスポーツセンターに
行ってみてください。

**笑えちゃう自転車
サイクルスポーツ
センター**

わたしたちも、実際におもしろ自転車に乗ってみました。紹介した5つの自転車のほかにも、様々な自転車がありました。大人でも乗るのが難しいものがあり、乗れるように練習していると、あっという間に時間が過ぎてしまいます。幼児用サイクルもあります。四輪なので、安定していて安心です。大人と一緒に乗ることができます。



おもしろ自転車はここで作られている！

オートクラフトIZU

オートクラフトIZU
静岡県伊豆市柏久保 1340
Tel. 0558-72-5658

この人は社長さんです。社長さんは、新しく作った自転車をどこに売るのがかを考えています。売る相手はサイクルスポーツセンターだけではないそうです。



サイクルスポーツセンターにあるいろいろなおもしろ自転車。それは「こゝオートクラフトIZU」で作られているんです。こんな自転車を作ってほしい。というリクエストをもらってその注文通りの自転車を作り、サイクルスポーツセンターに納めているそうです。

「こゝは、7人だけで働く小さな会社です。それでも、百種類以上1万台以上のおもしろ自転車を作ってきました。自転車の中のアイデア考案中の人がいっぱい。ぼくたちも一緒にアイデアを考えさせてもらいました。最初は何も思いつきませんでした。自分が考えたものが本物の自転車になるかも知れないと思うと、アイデアを考える手が自然に動いてきました。オートクラフトで働いている方に質問しました。

Q どんな気持ちで作っているんですか。
A たくさんの人に乗ってもらいたい。楽しく乗ってくれたらいいなと思って作っています。

Q アイデアはどうやって浮かぶんですか。
A 自分が子どもになって考えています。子どもの自分が乗りたいと思うものを紙に書いて、本物にします。

山の自転車王国に行き、笑って帰ってきました。

山の奥にこんなにぎやかな遊園地が…。サイクルスポーツセンターは、おもしろ自転車で有名ですが、他にもいろいろなアトラクションがあります。入り口の近くには、ペロドロームという大きな自転車競技場があります。アトラクションから見える景色もすごいです。特に、ガラガラ滑り台からはきれいな富士山が見えます。サイクルスポーツセンターの人たちは、できるだけ楽しんでもらえるようにと、お客さんと笑顔で接しています。わたしたちも、センターの人の笑顔を見て、自然と笑顔になりました。

(文・写真 / 朱里・来夢・望愛・真白)



春夏秋冬、いろいろな花を育てている虹の郷。子供から大人までたくさんの方が楽しめる自然があります。やったことのない体験もたくさんできて思い出に残すことができる場所です。

虹の郷には、伊豆の村、カナダ村、イギリス村、匠の村、そして日本庭園の5つの村があります。

自然いっぱい！いろいろな体験ができる虹の郷
みなさんも行ってみたいはどうか？

(文・写真 / 安寿・カレン・司・眞洋・優希哉)

**大人も子どもも
楽しめる自然公園！
修善寺虹の郷**



中でもNo.1の村は、匠の村です。秋は紅葉林がとってもきれいで、その中を歩くと心の中まで赤く、温かくなり、すがすがしい気持ちになります。紅葉林をぬけていくと、富士山が見えます。匠の村から見る富士山は迫力があり、とてもきれいに見えます。静岡県に来てまだ富士山を見ていない人には、この場所で見ると富士山がおすすです。



なんととっても紅葉のライトアップがNo.1!! とても美しい赤、黄、緑、...。とてもいやされる景色です。いつまで見ていてもあきません。そんな紅葉のライトアップをぜひ見に行ってください。



お花

虹の郷はお花が見どころ。春夏秋冬の花が咲きみだれています。花好きのみなさんには、びっぴりの場所です。ぜひ見に来てください。

修善寺虹の郷
静岡県伊豆市修善寺 4279-3
Tel. 0558-72-7111
営業 4月～9月 9:00～17:00
10月～3月 9:00～16:00



自然豊かな郷

山の中にある自然豊かな虹の郷。いつ来てもたくさんのきれいな花や木々でうめつくされています。季節ごとに、色とりどりの花がさいていて、心がいやされます。十一月の暮は、夜にライトアップされており、きらきらとかがやいています。

事務局長の高橋さんにとのようなお話しで花や木を育てているか聞いてみました。

「お客様が見たとき、きれいだね」と思ってもらえるように花を育てています。雲間をこわさないようにその村らしい花を植えているので、たくさんの方に花を楽しんでいただけます。カフェでお茶を飲みながら、花を楽しんでいただけます。ぜひ、みなさんにいらしてほしいですね。」

だから、虹の郷の自然はいつきてもきれいだと思えるんですね。虹の郷では、それぞれの村にあった、花や木々を植えているそうです。だからこの村に行ってもあきません。きれいな花を見ながらお茶をするのがいいですね。

虹の郷では、自然だけではなく乗り物に乗りたりいろいろな体験もすることができると。みなさんも虹の郷で楽しく過ごしてみたいはかですか？

(文・写真 / 汐里由奈・莉子りん)



湯川屋民芸店

昔ながらのすてきなお店

たくさんのお菓子をゆっくり
見たいかがですか？

修善寺温泉場にある「湯川屋民芸店」さん。お店に入ると、きぼりの像がむかえてくれます。それにミニチュアの物がたくさん置いてあります。木彫りの像だけではなく、ご主人も笑顔でむかえてくれました。とてもすてき！



湯川屋民芸店
静岡県伊豆市修善寺 952
☎ 0558-72-0476
営業時間 8:00~17:30

お店の奥の方には、修善寺物語に出ている「夜叉王」の木彫りの面が置いてありました。そんな湯川屋民芸店の主人はとても優しく、どんなお客様にも笑顔で接していました。

昔ながらの良さを持つ湯川屋民芸店！

温泉場に来たら、二度行ってみたいわ！ですか？
「主人に「どんな気持ちでお客様をむかえているんですか？」と聞いてみるよ」

「湯川屋民芸店に来て良かった！と言っていただけたらいいですね。お客様に喜んでもらえるように、できるだけたくさん種類のものを置いていきますよ。」と答えてくれました。

それを聞いて、やっぱりすてきなお店だな、と思いました。
(文・写真 / 汐里 由奈莉子)

三田鮎店

鮎のつり具専門店

鮎の有名な狩野川



修善寺橋のすぐ近くに「三田鮎店」さん。ご主人は鮎についてとても詳しく知っています。鮎をつりたいなら、このお店がおすすめです。ご主人が、何でも教えてくれます。



三田鮎店
静岡県伊豆市柏久保 1267
☎ 0558-72-0211
営業時間 7:00~19:00

あまくておいしい鮎の甘露煮を食べ、魚を好きになつてくださ。

「ご主人の三田さんは、「お客様が喜んでくれるように」と思いながらお店をやっているそうです。鮎をつるときには、三田鮎店に道具を買いに来て下さい。鮎つりの道具を何から何までおいてありますよ。つり具も鮎もこのお店にぜひ、来て下さい！」

狩野川では、鮎つりが有名です。ここには、鮎をつるためのつり具がたくさん置いてあります。店のすみかすみかまで、100種類以上のつり具が置いてあるんですよ。

さお、針、糸、えさ、浮きなど。それぞれ、大きいものや小さいもの、長いものや短いものまで、三田鮎店なら何でもそろいます。

(文・写真 / 安寿カレン・司眞洋路・優希哉)

地域の方達からメッセージをいただきました！



伊豆市観光協会修善寺支部
植田健二

修善寺南小学校5年生の皆さんに修善寺のフリーペーパーを作成していただき、観光協会の職員としてたいへん感謝しております。

私が皆さんと同じ小学生のころは、修善寺の観光・名所旧跡・観光施設についての勉強はありませんでした。

観光協会に就職してから学んだことや間違えた思い込みなどたくさんあり、今も勉強中の身ですが、修善寺のことを知るにつれて、もっと修善寺が好きになりましたし、もっと知識をつけなければと思いました。

今回のかしわ学習でのフリーペーパー作りでは、色々な発見や驚きなどたくさんあったと思います。そのときの発見を、皆さんが、友達や家族、観光客の人たちにお話ししてくれたらとても嬉しく思います。

修善寺に観光に訪れるお客様に対し、修善寺に住んでいる皆さんが、観光名所や見どころ、名物、歴史などを紹介できるということは、観光地である修善寺にとってとても素晴らしいことだと思います。

今回の学習で、さらに興味を持ったことやもっと知りたいことなどは、いつでもきいてください。私ももっと勉強して皆さんの力になれるよう頑張ります。私自身も今回のかしわ学習で貴重な体験をさせていただきました。本当にありがとうございます。



修善寺南小学校と食育体験
伊豆の国農協 松下千春

現在、伊豆の国農協では、農家の方々や他の機関などと協力しながら、修善寺南小学校で、サツマイモの定植、野菜苗の定植、パケツ稲の定植、収穫体験、椎茸の食菌体験・収穫体験を行っています。

これらの体験を通じて、小学生に少しでも地元農産物を知ってもらい、農業や地域の産業に興味を持ってもらえればと思って活動を行っています。実際に、これらの体験を行うと、小学生はとて一生懸命になって取り組み、また楽しんでくれているので、体験をやったよかったです。

少し視点をえて、食育について考えてみたいと思います。いま、スーパーに行けば、どんな野菜でも一年中あるし、コンビニに行けば、食べるものは何でもあります。それに、スマートフォンから食べ物を注文することだってできます。しかし、少し考えてみると、食べ物を作ることで、ずっと昔からそんなに変わっていないように思います。おじさんの子どものころだって、江戸時代だって、もしかしたら縄文時代だって、そんなに違いはないと思います。

農業って、食べ物を作るって、時代遅れかも知れませんが、でも、それがなくては、みなさん生きていけません。いくらパソコンが進化しても、食べ物は作れません。だから、食育って大切なんです。農業って大切なんです。

少し大きさが知れませんが、こういう体験を通じて、少しでも農業とか食料とかに関心を持ってもらえれば、きっと未来は明るいと思います。



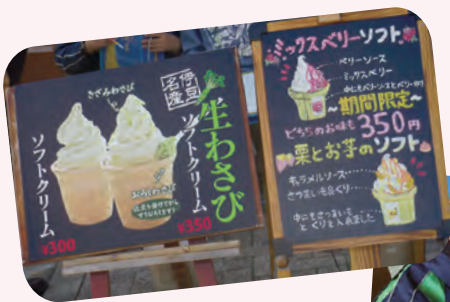
大切なこと
小長谷朗夫

南小学校のみなさんとかかわって、はや六年目になります。その時々、各学年のみなさんの「かしわ学習」に打ち込む姿勢・熱心さにはいつも感心させられる思いでした。

さて、本題に入りますが、その昔はみなさんの住む地域の地域にも一年を通じ、その特色を生かした「子ども歳時記」なるものがありました。一月から十二月まで何かしらその地域ならではの行事や大人に交じっての地域参加がありました。

しかし、残念なことにその多くが年を重ねるごとに消えていきました。特に、地域の歴史や継承すべき伝統など、過去から現在・未来につながる大切なことも同時に忘れ去られていきました。だからこそ、みなさんの学習する「かしわ学習」は大切な学びになります。

しかも、その結果としての「フリーペーパー」づくりは、多くの方が目にするのでまた読むことで、みなさんと同じ価値の共有ができる大切な学習だと思います。今後、今より一歩踏み込んだ学びができるといいですね。



café 弘乃

びりっとおいしいわさびソフト
観光客にも人気



生のワサビを使ったソフト
Café弘乃では、材料に
こだわったデザートを食べるこ
とができます。

その中でのオススメは、「わさ
びソフト」です。わさびが練り
こんであるソフトクリームはよ
く見かけますが、弘乃さんの
わさびソフトは違います。

なんとパナソフトクリーム
の上に、その場ですった生わさ
びと小さく刻んだわさびがのっ
ているのです。わさびがあま
り好きじゃなかったほくでも、
少しびりっとして美味しく
食べることができました。

(文写真/ 瑛人 聡志 大河 雄飛 圭乃)

café 弘乃
静岡県伊豆市修善寺761-1
05587220007
受付時間 10時~16時

一石庵

やさしい料理



一石庵の
黒米餅は、やわ
らかくて、とても
美味しかったです。

修善寺の目の前
修善寺の近くにある「一石
庵」。窓から見る秋の景色は風
情を感じます。店の外にある
足湯に足をつけながら景色を
見るのは最高です。

一石庵には修善寺で有名な
「黒米」を使った「黒米餅」があ
るといって、わたしたちも
早速食べてみました。

黒米餅は、マシマロのように
やわらかくて、かめばかむほど
香ばしい香りがふわ〜と口の中
に広がって、とても美味し
かったです。

ご主人に、黒米餅を作ると
きのこだわりを伺いました。ご
主人は、無添加の食材を使う
ことで、病気の方でも食べられ
るものを作っているとおっしゃ
っていました。

(文写真/ 瑛人 聡志 大河 雄飛 圭乃)



一石庵
静岡県伊豆市修善寺950-1
05587220063
受付時間 10時~16時

な、番

温泉場の食堂



昔話に出てきようなお店
温泉で有名な修善寺。修善寺
には、温泉の他に「食べ物」でも
有名なものがあることを知っ
ていますか？

な、番さんは修善寺の温泉場
にあります。な、番のご主人の
おもてなしは、会話を楽しん
でもらうことだそうです。

な、番さんの禅寺そばにはど
ろろも付いています。その中に
鶏の卵の黄身もあります。また、
禅寺そばには、わさびを
すつてもらおうという工夫があ
ります。この工夫は、修善寺の

禅風亭 な、番
静岡県伊豆市修善寺761-1-3
05587220007
受付時間 10時~16時

(文写真/ 瑛人 聡志 大河 雄飛 圭乃)

昔の暮らしを体験してもらお
うと思つて始めたかと教えてく
れました。

な、番さんは、家具もすこい
です。鮎を干した物をかぎつて
あつたり、蜂の巣をかぎつてあつ
たりします。昔話に出てきそ
うなお店です。



めし屋 みづ

みんなハッピー!和風・洋風弁当
なんとデザートもついてくる!



食材はすべて地元のもの
お店の名前は「めし屋みづ」。
そのお店で出される料理は、す
べて地元の食材を使っています。
ごはんは、白米と黒米が入っ
ています。修善寺特産の黒米
は、色々な料理方法があつてと
てもおいしい食材です。野菜も、
ほとんど地元の食材を使うよ
うに心がけているそうです。

デザートも黒米ケーキは絶品
その中でも黒米ケーキは絶品

めし屋みづ
静岡県伊豆市修善寺760-5
05587220546
受付時間 1711時~1914時
1711時~1914時
30分

(文写真/ 瑛人 聡志 大河 雄飛 圭乃)

ぼくたちは、実際に「花車弁
当」を食べさせてもらいました。
地元の食材を使った料理は、店
長さんの心を感じる味でした。
その中でも、にんじんや大根の
煮物はやわらかく煮てあつて、
野菜が苦手な子どもでも美味
しく食べられる味でした。

黒米はとてもヘルシーで美
味しいです。





新! 修善寺駅!

平成26年、新しい修善寺駅がすべて完成します!
とてもきれいなので、観光や旅行にぜひ来てください。



修善寺駅には、日本人じゃない人たちの小さな気づきがあります。それは何かというと、日本語が読めない人たちのために、外国語で案内が書かれているのです。そんな小さな気づきも、外国の方たちにはとても役に立っていると思います。

今年完成する「修善寺駅」。地元天城の木を使っているのが自慢です。天城の山奥から切り出した木が駅舎のほとんどの場所に使われています。わたしたち伊豆市民としては、地元天城の木が使われているということがとてもうれしいのです。天城山といえば、自然が多く、空気が澄んでいてとても美しい場所です。その自慢の天城山から切り出された木でできた修善寺駅で、ぜひ一度自然のあたたかさを感じてみてください。

(写真真)安寿・カレン・司・眞洋路(優希哉)

日本一の修善寺駅

寄りがいにもかう大人たちの着物は立派であこがれたものです。大人になったらあんな風になれるかな、いつも思っていました。はたしてあの頃夢みた大人に、私はなれたのだろうか、今、自戒をこめて反省しています。



お寺とこども、少しおとな

原 京(一石庵)

修善寺を私はただ、お寺と呼びます。弘法さんと呼ぶ人もいます。むかし、お寺に幼稚園があり、私はそこに通いました。温泉場のこどもは大抵通いました。朝の日課として、観音様に手を合わせ、「のさまにー」とうたいます。境内にあった銀杏の大木をまわってかけっこをします。いたずらが過ぎると、暗い、寂しい位牌堂にお仕置きとして入れられました。そこでアタをして暴れでもしたら大変、と今にして思います。が、当時そのお仕置きは絶望的なほど効き目がありません。誰かが「ごめんさーい、許してくださいさーい」と泣き叫んでも。二年間、通いました。

小学生になってもお寺はいつも身近な存在でした。それもそのはず、私の家はお寺から橋を渡っただけのところ。学校から帰ると遊びたい一心ですぐさまお寺へ走ります。南売で忙しい親には、これは好都合でありました。鐘楼の前で缶けり、わあっと裏にまわってかくれる。めんこ、コマまわし、ゴムまり野球、銀杏を背にして馬のり、中庭に潜入してカブト虫を捕まえたりで遊びほうけたものです。不思議と観光客の姿は少なく、境内を自由きままに走りまわりました。お客様でいっぱいなら、門前のオヤジあたりに怒鳴りつけられるところですね。夕方五時のゴーンが鳴ると友達の家へ帰ります。日が長い季節には、私はひとり夕ごはんの六時までたづぶり遊ぶのです。夜八時にもなると旅館からお客様が湧き出でてきて温泉街をうずめまわりました。昼間の散策客でにぎわう今と、様子がずいぶん違ってしまいました。

今回、取材を通してたくさんの方と出逢ったことでしょうか。目標となる大人に出逢えたら、それはとても幸せなことですね。

駅の売店

IZU-La



売店は以前より少し小さくなってしまったため、品物の数は少なくなっています。しかし、売られている食べ物、伊豆市の特産品でとてもおいしいんです。中でもオススメなのは、温泉まんじゅうです。温泉まんじゅうは、ほつべたが落ちるほど甘く、あんこあんこを包む生地がベストマッチ！もちもちの食感でおいしいんです。ぜひ一度食べてみてください。



ここに!伊豆に!

伊豆市商工会がオススメするおいしいお店を紹介します!

くうかい? 修善寺!!



駅前エリア
割烹 四季
住 所: 伊豆市柏久保 605-2
T E L : 0558-72-3135
定休日: 水曜日
四季折々の旬の食材の料理と
うな重が絶品!



駅前エリア
食処 おゝき
住 所: 伊豆市柏久保 625-3
T E L : 0558-72-0054
定休日: 水曜日
とろろぶっかけ丼やそば定食
が人気です



駅前エリア
鮨処 玉家
住 所: 伊豆市柏久保 628-4
T E L : 0558-72-5808
定休日: なし
沼津魚市場直送。伊豆の幸を
どうぞ



駅前エリア
和めしや 中清食堂
住 所: 伊豆市柏久保 621-15
T E L : 0558-72-0047
定休日: 月曜日
子供からお年寄りまで満足で
きるお店です



温泉場エリア
そば処 駿河亭
住 所: 伊豆市修善寺 691-1
T E L : 0558-72-9577
定休日: 不定休
自慢の逸品 鮎そば!!



温泉場エリア
独鈷そば 大戸
住 所: 伊豆市修善寺 765-6
T E L : 0558-72-0247
定休日: 火曜日
天城産の山葵で味わう独鈷さ
るそば



温泉場エリア
焼きとり居酒屋 とり茂
住 所: 伊豆市修善寺 757-1
T E L : 0558-72-0634
定休日: 火曜日
笑顔でお客様と接するアット
ホームな焼鳥屋



温泉場エリア
奈袖太
住 所: 伊豆市修善寺 3451-26
T E L : 0558-72-0347
定休日: 水曜日
おいしいお食事を用意してお
待ちしています



駅前エリア
西島屋
住 所: 伊豆市柏久保 607-1
T E L : 0558-72-0983
定休日: 水曜日
昔ながらのソース焼きそば、
シタケ丼他種類あり



駅前エリア
紅ほうずき
住 所: 伊豆市柏久保 603-7
T E L : 0558-72-7200
定休日: 火曜日 (予約時、祭日は営業)
四季折々の手打蕎麦をぜひ御
賞味下さい



駅前エリア
朋友
住 所: 伊豆市柏久保 500-2
T E L : 0558-72-5011
定休日: 水曜日
美味しい・安い・ボリューム満
点のおもてなし



駅前エリア
喫茶 あぐり
住 所: 伊豆市柏久保 627-6
T E L : 0558-72-0249
定休日: 不定休
待ち合わせ、お茶のひとつに
どうぞ



温泉場エリア
ひろちゃん
住 所: 伊豆市修善寺 3458-14
T E L : 0558-72-0460
定休日: 火曜日
17時から深夜1時まで営業し
ています



温泉場エリア
ふつうのそばや 八百孝
住 所: 伊豆市修善寺 3458-6
T E L : 0558-72-0116
定休日: 水曜日
ふつうのそば屋が一生涯調
理致します



温泉場エリア
カフェ・ヴァン・ローゼス
住 所: 伊豆市修善寺 4279-3 (虹の郷内)
T E L : 0558-72-7222
定休日: 虹の郷 休園日
名物パラソフトが美味しいで
す



温泉場エリア
honohono cafe
住 所: 伊豆市修善寺 882-9
T E L : 0558-72-2500
定休日: 火曜日、第三水曜日、不定休
寺前から少し離れた散策の途
中にあります



駅前エリア
也万波
住 所: 伊豆市柏久保 544-27
T E L : 0558-72-0711
定休日: 不定休
地場産品を美味しく調理して
お出しします



温泉場エリア
居酒屋 わらしな
住 所: 伊豆市修善寺 761-13
T E L : 0558-72-1830
定休日: 不定休
居酒屋の手打そば



温泉場エリア
茶庵 芙蓉
住 所: 伊豆市修善寺 1082
T E L : 0558-72-0135
定休日: 不定休
古民家の甘味処。抹茶や抹茶
白玉あずきなど



温泉場エリア
修善寺 手焼堂
住 所: 伊豆市修善寺 4279-3 (虹の郷内)
T E L : 0558-72-7111
定休日: 虹の郷 休園日
炭火焼きの煎餅の味をお楽し
み下さい



温泉場エリア
松葉茶屋
住 所: 伊豆市修善寺 4281-41
T E L : 0558-72-0576
定休日: 火曜 (夜は不定休)
オコゲが美味しい源氏釜めし
のお店です



温泉場エリア
まつ家
住 所: 伊豆市修善寺 1154-2
T E L : 0558-72-5307
定休日: 水曜日
地元の素材を活かした肴で好
きなお酒をどうぞ!



温泉場エリア
道
住 所: 伊豆市修善寺 691-1
T E L : 0558-72-0045
定休日: 不定休
当店オリジナルブレンドコー
ヒーが美味しい!



温泉場エリア
安兵衛
住 所: 伊豆市修善寺 882-1
T E L : 0558-72-0917
定休日: 水曜日
春は山菜、夏は天然鮎料理、一年を
通してズグーどんを提供しております!



温泉場エリア
修善寺 no 洋食屋
住 所: 伊豆市修善寺 697-1
T E L : 0558-72-8971
定休日: 水曜日、第一・第三水曜日
和空間で楽しむ定番洋食



温泉場エリア
食道苑
住 所: 伊豆市修善寺 691-8
T E L : 0558-72-6782
定休日: 水曜日
肉屋直営! 安くて美味しい!



温泉場エリア
寿司処 まとい
住 所: 伊豆市修善寺 1116-1
T E L : 0558-73-1134
定休日: 水曜日
本格寿司をお手頃価格にてぜ
い御賞味下さい



温泉場エリア
そば処 ささや
住 所: 伊豆市修善寺 4281-45
T E L : 0558-72-4430
定休日: 水曜日



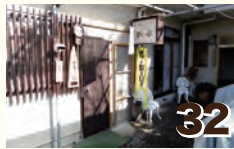
熊坂エリア
鮭ひがし
住 所: 伊豆市瓜生野 218-1
T E L : 0558-72-4886
定休日: 火曜日
地魚料理とわさび巻きがおス
スメです。



熊坂エリア
(有)柳光亭
住 所: 伊豆市熊坂 502
T E L : 0558-72-5550
定休日: 火曜日 (祭日は営業)
鮓・鮎・郷土料理は伊豆一と、自信を持
ち皆様のご来店をお待ちしております



牧之郷エリア
野風増
住 所: 伊豆市牧之郷 534-3
T E L : 0558-73-0888
定休日: 火曜日 (日曜日は予約のみ)
サクサク、ジューシーな揚げ
物をどうぞ!



牧之郷エリア
牧水
住 所: 伊豆市牧之郷 524-8
T E L : 0558-72-0905
定休日: 日曜日
カラオケ有ります! 歌いに来
てください

地図は P28-P29 にあります

地図 -1 駅前エリア



地図 -4 熊坂 / 牧之郷エリア



地図 -2 温泉場エリア -1



地図 -3 温泉場エリア -2





小学生× 商工会× 地域

伊豆市商工会 修善寺支所
高橋 正樹

元気がない伊豆を元気にしたい！そんな思いからこのフリーペーパーは生まれました。せっかく作るのであれば誰かと一緒に作りたい、元気ができるものを作るためにはやはり元気がある人と一緒に作らなければ！ということで、共同制作者は元気が溢れんばかりの伊豆っ子たちに白羽の矢が立てられました。地域の勉強、その勉強を活かしての取材、自分たちなりの記事のまとめ等々、子供達の作業はとて大変だったと思います。それでも笑顔があふれ、元気いっぱいの子供達。とてもキラキラとまぶしく輝いていました。

大人になって見えなくなるものって色々あると思います。秘密基地をつくって大人には内緒にしたり、駄菓子屋で買うお菓子を悩んだり…何をやっても楽しくて面白かった子供時代。そんな楽しいを形にできた一冊だと思います。

風情もあり、子供の隠れ家的な面白さも併せ持つ“修善寺”をぜひお楽しみください。

小学生とプロフェッショナルがつくる
コラボレーション情報マガジン
KURURA くるら

発行／監修：伊豆市商工会

編集：伊豆市立修善寺南小学校5年生
デザイン／編集：株式会社カラーコード
デザイン協力：首都圏イノベーションセンターMIKAN
取材：伊豆市立修善寺南小学校5年生

協力：特定非営利活動法人NPOサプライズ
伊豆市観光協会修善寺支部
JA伊豆の国
小長谷朗夫
デザイン講座：クリエイターチーム カラフル

お問い合わせ 伊豆市商工会修善寺支所 〒410-2416 静岡県伊豆市修善寺838-1 TEL.(0558)72-2111

子供たちとのデザインを通して

株式会社カラーコード 代表取締役
クリエイターチームカラフル 代表
浅井由剛



「デザイン」と言うと生活や一般の仕事には関係なく、縁遠いものと思っている人が多いけども、こんなに人や心を豊かにしてくれるものはないと思って日々デザインの仕事をしています。

デザインとは人の生活をもっとよく、もっと豊かに、もっと便利にするものです。問題があれば、それを解決する方法を考えるのがデザインです。それを感性と技術と、いろいろな人の知恵を使い、人が心地よい状態になるものを作る上げていくのがデザインの仕事です。人は汚いものよりもキレイなものの方が絶対好きですし、キレイなものの方が気持ちよく生活が出来ると信じます。日本の地域の活性にも、人材の教育にもデザインは欠かせないものという想いが、今回の小学生と一緒にフリーペーパーを作る機会に巡り会えたと思います。

特にこれからの日本は感性を使った仕事が増えていくと言われています。その地域でしか作れないもの、その地域でしか味わえないものが経済を作っていくことになると言います。それを作っていくには良い感性が必要です。感性を育てていくには良い物を実際に見ること

が大事です。実際に様々なプロの大人達の仕事を見ることは良い感性を作っていくことに欠かせないものだと思います。

3年前より、伊豆市立修善寺南小学校のかしわ学習に関わらせていただくことになり、そこでデザインと言うものを教える機会をいただきました。

グループに分かれ、修善寺を全国に知ってもらう為のロゴ作りから始まり、5年生と6年生がそれぞれ、修善寺の地図を作り、ガイドマップを作り自分たちで東京の人に配りました。そして今回はフリーペーパーとして、多くの人たちに小学生が取材した様々な修善寺の素敵な人や場所を紹介することが出来ます。

私たちプロのデザイナーとのフリーペーパー作りを通して、一人でも多くの子供達が本を作ることや、何か物を作る過程やデザインそのものに興味を持ってくれると本当に嬉しく思います。

小学生の時にデザインを目指したいと思った子がどんなデザインをしていくのか、とても楽しみです。



特定非営利活動法人NPOサプライズ 事務局長 森嶋 康代

小学生のうちに、プロのデザイナーさんから直接教えてもらうチャンスがある！

私が小学生だった頃には考えもつかなかったことです。私がこの素晴らしい、小学生×デザイナーの協働に関わらせて頂いて3年目になります。市外から嫁いできた私にとって、修善寺は本当に魅力的な場所です。地域資源という面ではもちろんですが、何より、大人と子供が、これほどまでにあたたかく力強くつながり合う。そして子供たち自身も、素直にそれを受け入れ、地元を愛することができる。

この子供たちに、地元に対する愛情を持ち続けてもらうには私は何が出来るのか。将来、たとえば地元を離れ

る時が来たとして、彼らは修善寺の自慢をしてくれるだろうか。

制作のお手伝いをさせて頂きながら、ずっとそんなことを考えていました。

取材をしていた子供たちの姿からは、心から楽しんでいるのが伝わってきます。そんな姿を、このフリーペーパーをご覧頂いた皆様に少しでも感じ取って頂けたら…私は本当に幸せです。



伊豆市商工会



9izu

SURPRIZU
NONPROFIT ORGANIZATION

COLORCODE

COLORFUL
design for everyone

静岡圏イノベーションセンター
MICAN
Municipalities Innovating Cities And Network

小学生とプロフェッショナルがつくるコラボレーション情報マガジン

くるら KURURA

2014年3月発行 発行人 伊豆市商工会

〒410-2416 静岡県伊豆市修善寺838-1 TEL 0558-72-2111